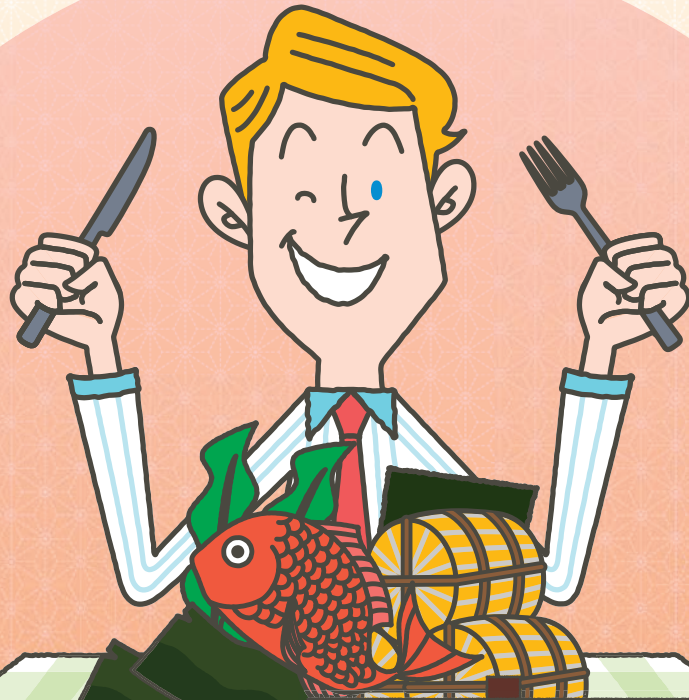


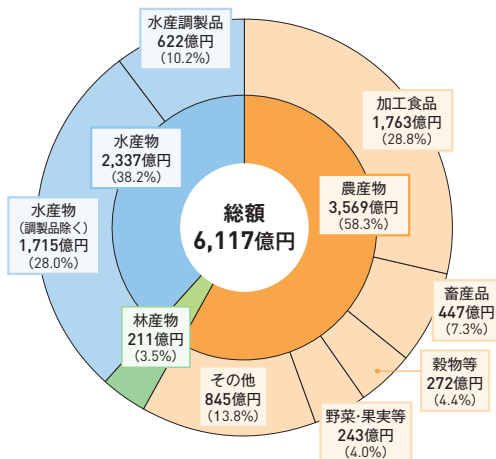
日本の農林水産物・食品の輸出拡大に向けて ニッポンの食材、おいしいね!

日本食は、その食材の多様性と優れた栄養バランス、
繊細な味付けや盛り付けで、世界中の人々を魅了しています。

農林水産省では、この魅力をもっと世界に広め、
食市場獲得と日本の農林水産物・食品輸出の拡大に向けた
さまざまな取り組みを進めています!



農林水産物・食品の輸出額の 品目別内訳 (平成26年)



※カッコ内は輸出額に占める割合

P.04 林 芳正農林水産大臣が語る
目指せ1兆円! 攻めの輸出戦略

P.08 世界のトップシェフが大注目! 今、日本の食材が熱い

P.10 親日家のノースさんがナビゲート!
世界に届け日本食材! 加速するその戦略とは…

戦略1 日本食・食文化の普及
人気ナンバー1! 日本食の魅力を発信

P.11 戦略2 市場獲得
合言葉は「FBI」。目指すは輸出額1兆円!

P.12 戦略3 ブランド化
国のお墨付き! “ブランド食材”で差別化

P.13 戦略4 情報発信
「安心」で「奥深い」。日本の食を世界へ

日本の食材を、もっと世界へ!

2020年には680兆円に達すると見られている世界の食市場。巨大な市場規模に対し、2012年の日本の農林水産物・食品輸出額は4,500億円でしたが、2014年には史上最高額の6,117億円に。2020年までには1兆円到達も視野に入ってきました。農林水産省では、2030年に5兆円を目指すプロジェクトを立ち上げました。